

**This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

**Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.**

**Defects in the images may include (but are not limited to):**

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORLED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11239269 A**(43) Date of publication of application: **31.08.99**

(51) Int. Cl. **H04N 1/40**  
**G03B 27/80**  
**H04N 1/00**

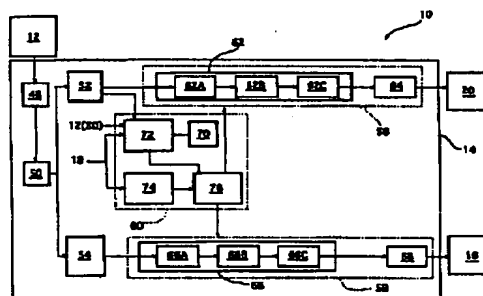
(21) Application number: **10040143**(71) Applicant: **FUJI PHOTO FILM CO LTD**(22) Date of filing: **23.02.98**(72) Inventor: **KANESHIRO NAOTO**(54) **IMAGE PROCESSING METHOD**

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To enable stable output of a print reproducing an image of a high picture quality corresponding to various scenes by acquiring scene information together with an image and set image processing conditions corresponding to this scene.

**SOLUTION:** In a photoprinter 10, when scene information is recorded on a film of a frame (image) or a frame (image) contains image data to which scene information outputted from a digital camera or the like is applied, the image of that scene is set on predetermined conditions corresponding to the scene so as to be properly finished. In this case, information read by the carrier 30 (magnetic head) of a scanner 12 is supplied to a set-up part 72 as well. When it is detected from the supplied magnetic information that the scene information is applied (recorded to the film) concerning that frame, the set-up part 72 reads the information of image processing conditions from a processing information storage part 70 corresponding to that scene information and sets the image processing conditions correspondingly.



133-311

330 調査令

(19) 日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-239269

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月31日

(51) IntCl.<sup>6</sup> 識別記号

H 0 4 N 1/40

G 0 3 B 27/80

H 0 4 N 1/00

P I

H 0 4 N 1/40

G 0 3 B 27/80

H 0 4 N 1/00

Z

G

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平10-40143

(22) 公開日 平成10年(1998) 2月23日

(71) 出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社

神奈川県横浜市中区210番地

(72) 発明者 金城 直人

神奈川県足柄上郡岡成町宮台798番地 富

士写真フイルム株式会社内

(74) 代理人 伊理士 渡辺 留健

画像にシーン情報を付与しあき。

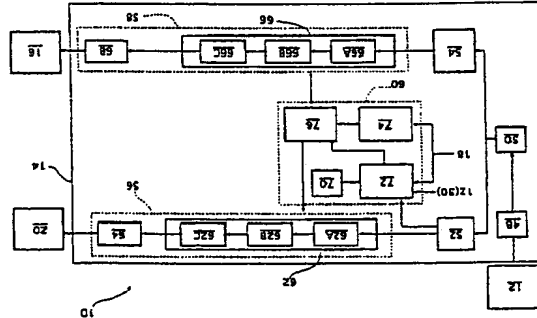
あき 211 事件で決定する。

(54) 【発明の名称】 画像処理方法

(57) 【要約】

【課題】 フィルムに撮影された画像等の画像シーンに応じて最適な画像処理条件を設定することができ、様々なシーンに対応して、高画質な画像が再生されたプリントを安定して出力することができ、画像処理方法を提供する。

【解決手段】 画像データ供給源から供給された画像を用いて画像処理条件を設定するに際し、画像にシーン情報を付与しておき、画像と共にシーン情報を取得して、このシーン情報に応じて画像処理条件を設定することにより新記課題を解決する。



(2) 特開平 11-239269

【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像データ供給源から供給された画像を用いて画像処理条件を設定するに際し、前記画像にシーン情報を付与しておき、前記画像と共に前記シーン情報を取得して、このシーン情報に応じて画像処理条件を設定することを特徴とする画像処理方法。

【請求項2】 前記画像のシーン情報が、フィルムに感光剤もしくは光学的に記録されたものである請求項1に記載の画像処理方法。

【請求項3】 画像データ供給源から供給された画像を用いて、複数の画像を1枚のプリントに記録したインデックスプリントを作成するに際し、前記画像にシーン情報を付与しておき、前記シーン情報に応じて画像の配列を設定することを特徴とする画像処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、フィルムの画像を光電的に読み取り、この画像が再生されたプリント（写真）を得るデジタルフォトプリンタ等々に利用される、画像処理の技術分野に属する。

【0002】

【従来の技術】 現在、ネガフィルム、リバーサルフィルム等の写真フィルム（以下、フィルムとする）に撮影された画像の感光材料（印画紙）への焼き付けは、フィルムの画像を感光材料に投影して感光材料を面露光する、いわゆる面露光（アナログ露光）が主流である。

【0003】 これに対し、近年では、デジタル露光を利用する焼付装置、すなわち、フィルムに記録された画像を光電的に読み取って、読み取った画像をデジタル信号とした後、種々の画像処理を施して記録用の画像データとし、この画像データに応じて変調した記録光によって感光材料を走査露光して画像（潜像）を記録し、（仕上り）プリントとするデジタルフォトプリンタが使用化された。デジタルフォトプリンタでは、画像をデジタルの画像データとして画像処理を行うことができるので、複数画像の合成や画像分割、さらには文字の合成等も画像データ処理によって行うことができ、用途に応じて自由に編集/処理したプリントも出力可能である。しかも、デジタルフォトプリンタによれば、画像をプリント（写真）として出力するのみならず、画像データをコンピュータ等に供給したり、フロッピーディスク等の記録媒体に保存しておくこともできるので、画像データを、写真以外の様々な用途に利用することができる。

【0004】 このようなデジタルフォトプリンタは、基本的に、フィルムに記録された画像を光電的に読み取るスキヤナ（画像読取装置）と、読み取った画像を画像処理して出力用の画像データとする画像処理装置と、画像入力装置から出力された画像データに応じて感光材料を走査露光して潜像を記録し、感光剤の感光材料に潜像如

理を施してプリントとするプリンタ（プリンタ・プロセス）とを有して構成される。

【0005】 スキヤナでは、光源から射出された露光光をフィルムに入射して、フィルムに撮影された画像を担持する感光剤を得て、この感光剤を結像レンズによって CCD センサ等のイメージセンサに結像して光電変換することにより画像を読み取り、必要に応じて各種の画像処理を施した後に、フィルムの画像データとして画像処理装置に送る。画像処理装置は、スキヤナによって読み取られた画像データから画像処理条件を設定して、設定した条件に応じた画像処理を画像データに施し、画像記録のための出力画像データ（露光条件）としてプリンタに送る。プリンタでは、例えば、光ビーム走査露光を利用する装置であれば、面露光装置から送られた画像データに応じて光ビームを走査して、この光ビームを走査方向に偏向すると共に、走査方向と直交する露光走査方向に感光材料を露光することにより、画像を担持する光ビームによって感光材料を露光（焼付け）して潜像を形成し、次いで、プロセスにおいて感光材料に応じた画像処理等を施して、フィルムに撮影された画像が再生されたプリント（写真）とする。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 前述のように、デジタルフォトプリンタでは、フィルムの画像を光電的に読み取って、デジタルの画像データ（潜像データ）とし、この画像データを解析することによって画像のばらつきを把握して、その画像に応じた画像処理条件を設定し、この画像処理条件に応じて画像の画像データを処理することによって、焼付時の露光条件すなわち出力用の画像データを得る。そのため、走査やストロボ露光等に起因する画像の飛びやツブレの補正、シャープネス（鮮鋭化）処理、カラーあるいは速度フェーダの補正等を好適に行うて、従来の高画質なプリントを得ることができ、再生された高画質なプリントを得ることができる。

【0007】 しかしながら、フィルムに撮影される画像は、人物、風景、花等、様々なシーンがある。そのため、画像を光電的に読み取って得られた画像データを解析して画像処理条件を設定しても、必ずしも、その画像に対して最適な画像処理条件が得られない場合もある。

【0008】 本発明の目的は、デジタルフォトプリンタに用いられるデジタルの画像処理方法であって、フィルムに撮影された画像等に応じて最適な画像処理条件を設定することができ、様々なシーンに対応して、高画質な画像が再生されたプリントを安定して出力することになる。

【0009】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するため、本発明は、画像データ供給源から供給された画像を用いて画像処理条件を設定するに際し、前記画像にシーン情報を付与しておき、前記画像と共に前記シーン情報

を服用して、このシーン情報に応じて画像処理条件を設定する特徴とすると画像処理方法を提供が、フィルム

【0010】また、前記画像のシーン情報、フィルムに磁気的もしくは光学的に記録されたものであるのが好ましい。

【0011】さらに、本発明の別の態様は、画像データ供給源から供給された画像を用いて、複数の画像を1枚のプリントに記録したインデックスプリントを作成する際に、前記画像にシーン情報を付与しておき、前記シーン情報に応じて画像の配列を設定することを特徴とする画像処理方法を提供する。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の画像処理方法について、添付の図面に示される好適実施例を基に詳細に説明する。

【0013】図1に、本発明の画像処理方法を利用するデジタルフォトプリンタの一例のブロック図が示される。図1に示されるデジタルフォトプリンタ（以下、フォトプリンタ10とする）は、基本的に、フィルムFに撮影された画像を光電的に読み取るスキャナ（画像読取装置）12と、読み取られた画像データ（画像情報）の画像処理やフォトプリント10全体の操作および印刷等を行う画像処理装置14と、画像処理装置14から出力された画像データに応じて被写体光ビームで感光材料（印刷紙）を露光し、現像処理して（仕上り）プリントとして出力するプリンタ16とを有して構成される。また、画像処理装置14には、様々な条件の入力（設定）、処理の選択や指示、色/濃度補正などの指示等を入力するためのキーボード18およびマウス18bを有する操作系18と、スキャナ12で読み取られた画像、各種の操作指示、条件の設定/登録画面等を表示するディスプレイ20が接続される。

【0014】なお、本発明の画像処理方法は、このようなデジタルフォトプリンタのみならず、フィルムに撮影された画像をCCDセンサ等で光電的に読み取って、得られた画像データから絞込みなどの露光光量や色フィルタ挿入量などの色調整量等の画像処理条件（露光条件）を設定し、この画像処理条件に応じて、フィルムの露光で感光材料を露光する、従来の直露露光によるアナログのフォトプリンタにも好適に利用可能である。

【0015】スキャナ12は、フィルムF等に撮影された画像を1コマずつ光電的に読み取る装置で、光源22と、可変絞り24と、フィルムFに入射する読取光をフィルムFの面方向で均一にする拡散ボックス28と、結像レンズユニット32と、R（赤）、G（緑）およびB（青）の各画素に対応するラインCCDセンサを有するイメージセンサ34と、アンプ（増幅器）36と、A/D（アナログ/デジタル）変換器38とを有して構成される。

【0016】また、フォトプリンタ10においては、新

写真システム(Advanced Photo System)や135サイズのネガ（あるいはリバーサル）フィルム等のフィルムの種類やサイズ、ストリップスやスライド等のフィルムの形態等に応じて、スキャナ12の本体に装着可能な専用キャリヤが用意されており、キャリヤを交換することにより、各種のフィルムや処理に対応することができ、フィルムに撮影され、プリント作成に供される画像（コマ）は、このキャリヤ12によって、フィルムFに撮影された画像を読み取る際には、光源22から射出され、可変絞り24によって光量調整された読取光が、キャリヤによって所定の読取位置に位置されたフィルムFに入射して、透過することにより、フィルムFに撮影された画像を透過する投影光を得る。

【0017】図示例のキャリヤ30は、新写真システム（APS）のフィルムF（カートリッジ）に対応するもので、図2（A）に模式的に示されるように、所定の読取位置にフィルムFを位置しつつ、イメージセンサ34のラインCCDセンサの延在方向（主走査方向）と直交する副走査方向に、フィルムFの最手方向を一致して搬送する、読取位置を副走査方向に横断して搬送ローラ対30aおよび30bと、フィルムFの投影光を所定のスリット状に規制する、読取位置に対応して位置する主走査方向に延在するスリット40aを有するマスク40とを有する。フィルムFは、このキャリヤ30によって読取位置に位置されて副走査方向に搬送されつつ、読取光を照射される。これにより、結果的にフィルムFの主走査方向に延在するスリット40aによって2次元的にスリット走査され、フィルムFに撮影された各コマの画像が読み取られる。

【0018】ここで、図2のように、新写真システムのフィルムFには、磁気記録媒体が形成されており、各種の情報が、あらかじめ磁気記録媒体に記録されており、さらに、カメラ、現像装置、キャリヤ30に配置される磁気情報の記録および読取手段によって、磁気記録媒体に各種の情報が書き込まれ、また、読み出される。

【0019】詳しくは、図3に概念的に示されるように、新写真システムのフィルムFには、カートリッジ11から引き出し方向（図中矢印A方向）の先端コマG1より先端側の所定領域、各コマGにそれぞれ対応する領域、および露光側の両端コマより後端側の所定領域の、幅方向（主走査方向）の両端部近傍に、最手方向（副走査方向）に延在する透明な磁気記録媒体Sが形成されている。フィルムFの先（後）端部の磁気記録媒体S1には、カートリッジ11D、フィルムF、感度、現像日時等のフィルムF全体にかかる情報が磁気的に記録され、各コマ領域の磁気記録媒体S2には、撮影日時、撮影時のストロボ露光の有無、タイトル等の各コマ毎の情報が記録される。また、基本的に、磁気記録媒体Sの幅方向の一方側にはカメラ関係の情報が、他方にはラボ関係の情報が、

それぞれ記録される。なお、図中の符号46は、フィルムFを収納するカートリッジ本体で、符号Pは、フィルムFを搬送（送り出し、巻き戻し）するためのパワーフォレンジョンボールである。

【0020】本発明の画像処理方法において、この各コマ領域の磁気記録媒体S2は、撮影された画像のシーンを示すシーン情報の付与手段の1つとして利用され、必要に応じて、撮影時にカメラの磁気記録手段によってシーン情報を記録される。また、（新写真システム）のフィルムFに対応するキャリヤ30には、磁気記録媒体Sに記録された情報を読み取り、また、必要な情報を記録する磁気ヘッド42および42が配置される。読み取りに供されるコマの磁気記録媒体S2にシーン情報が記録されているれば、磁気ヘッド42がそれを読み取り、スキャナ12から画像処理装置14に送られる。

【0021】さらに、通常の135サイズのフィルムや、新写真システムのフィルムに限らず、フィルムには、フィルム巻、感度、コマ番号等を表す、DXコード、拡張DXコード、FNSコード等のバーコードが記録されている。キャリヤ30の磁気ヘッド42とマスク40との間には、これらのバーコードを光学的に読み取るためのコードリーダー44が配置される。なお、このようなフィルムに記録されたバーコードを読み取るコードリーダーは、新写真システムのキャリヤ30に限らず、通常の（フィルム）キャリヤであれば配置されている。

【0022】本発明の画像処理方法においては、フィルムFの各コマの画像処理手段に、シーン情報をバーコードや光学的に読み取可能な記号として光学的に記録して、コードリーダー44等を用いてシーン情報を読み取り、スキャナ12から画像処理装置14に送ってもよい。なお、フィルムFへのシーン情報の記録方法には特に限定はなく、例えば、各種のカメラに配置されるフィルムFの日の付の記録手段と同様に、撮影時等に液晶ディスプレイ等を用いて焼き込まれよい。

【0023】このようなシーン情報には特に限定はなく、例えば、人物、花、風景、夜景、室内、花火、雪、夕日、静物等が示され、さらに、人物（逆光）、人物（近接）、風景（海）、風景（山）、室内（電灯）、室内（タンクステランランプ）等、より細かな設定としてもよい。シーン情報は、シーン情報（シーン情報の分類データ）と画像内容とを対応付けて規格化してもよく、顧客がシーン情報を任意に設定して画像内容と対応付けてラベル等に記録してもよく、あるいは、両者を併用してもよい。また、規格化する際には、カメラメーカーで規格を統一するのが好ましい。さらに、シーン情報は、数字やアルファベットでID化しておき、フィルムFへのID情報の付与（入力作業）を容易にするのが好ましい。

【0024】本発明の画像処理方法を利用するフォトプリンタ10においては、このシーン情報に応じて画像処

理条件を設定する。この点に関しては、後に詳述する。また、1コマ（1画像）に付与するシーン情報は、1コマに限定されない。

【0025】前述のように、読取光はキャリヤ30に保持されたフィルムFを透過して画像を形成する投影光となり、この投影光は、結像レンズユニット32によってイメージセンサ34の受光面に結像される。図2（B）に示されるように、イメージセンサ34は、R画像の読み取りを行うラインCCDセンサ34R、G画像の読み取りを行うラインCCDセンサ34G、およびB画像の読み取りを行うラインCCDセンサ34Bを有する。いわゆる3ラインのカラーCCDセンサで、各ラインCCDセンサは、前述のように主走査方向に延在している。フィルムFの投影光は、このイメージセンサ34によって、R、GおよびBの3原色に分解されて光電的に読み取られる。イメージセンサ34の出力信号は、アンプ36で増幅され、A/D変換器38でデジタル信号とされ、画像処理装置14に送られる。

【0026】スキャナ12においては、フィルムFに撮影された画像の読み取りを、低解像度で読み取るプレスキャンと、出力画像の画像データを得るための本スキャンとの、2回の画像読取を行う。プレスキャンは、スキャナ12が対象とする全てのフィルムの画像を、イメージセンサ34が読取することなく読み取るように、あらかじめ設定された、プレスキャンの読取条件で行われる。一方、本スキャンは、プレスキャンデータから、その画像（コマ）の最低画数よりも若干低い画数でイメージセンサ34が読取するように、各コマ毎に設定された本スキャンの読取条件で行われる。プレスキャンと本スキャンの出力信号は、解像度と出力レベルが異なる以外

は、基本的に同じデータである。

【0027】なお、本発明の画像処理方法にかかるフォトプリンタ10において、スキャナは、このようなスリット走査によるものに限定されず、1コマの画像の全面を一度に読み取る、面露光を利用するものであってもよい。この場合には、例えば、エリアCCDセンサを用い、光源とフィルムFとの間に、R、GおよびBの各色フィルタの挿入手段を設け、色フィルタを挿入してエリアCCDセンサで画像を読み取ることを、R、GおよびBの各色フィルタで順次行い、フィルムに撮影された画像を3原色に分解して順次行う。

【0028】本発明の画像処理方法において、画像データ供給源は図示例のようなフィルムを読み取るスキャナ12に限定されず、例えば、反射原像を読み取るスキャナ、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ等の画像デバイス、インターネットやローカルエリアネットワーク等のコンピュータ通信、MOディスク等の記録媒体（媒体の記録・読出手段）等が例示される。これらの画像データ供給源において、シーン情報は、例えば、画像ファイルのヘッダ等に記録して付与すればよい。

の、電子変換処理、複写処理（複写ダイナミックレンジの圧縮/伸長）、シャープネス（鮮鋭化）処理等を行うものであり、ローパスフィルタ、加算器、LUT、MTX等を用い、平均化処理や補間演算等による公知の手段で、これらの各処理を行う。これらの各処理ブロックにおける各処理条件は、後述する条件設定部60において設定される。

【0033】画像データ変換部68は、処理部66によって処理された画像データを、例えば、3D（三次元）-LUT等を用いて変換して、プリンタ16による画像記録に対応する画像データとしてプリンタ16に供給する。画像データ変換部64は、処理部66によって処理された画像データを、必要に応じて関引いて、同時に、3D-LUT等を用いて変換して、ディスプレイ20による表示に対応する画像データとしてディスプレイ20に表示させるものである。両者における処理条件は、後述する条件設定部60で設定される。

【0034】条件設定部60は、プレスキャン処理部56および本スキャン処理部58において各処理条件を設定し、その処理条件を設定する。この条件設定部60は、セットアップ部72、キー補正部74、パラメータ設定部76、および処理情報記憶部70とを有して構成される。

【0035】セットアップ部72は、プレスキャンデータ等を用いて、本スキャンの撮影条件を設定してスキャナ12に供給し、また、プレスキャン処理部56および本スキャン処理部58の各処理条件を設定（調整）し、パラメータ設定部72は、プレスキャンメモリ52からプレスキャンデータを読み出し、プレスキャンデータから、適度ヒストグラムを作成し、平均濃度、ハイライト（低濃度）、シャドウ（高濃度）等の画像特徴量の算出を行い、本スキャンの撮影条件を設定し、また、適度ヒストグラムによる指示等に応じて、グレイバランス調整、階調補正および適度調整を行うLUTの作成、MTX演算式の作成、鮮鋭度補正係数の算出等、プレスキャン処理部56および本スキャン処理部58における各処理条件を設定する。

【0036】ここで、本発明の画像処理方法を利用するフォトプリンタ10においては、そのコマ（画像）がフィルムにシームレスに記録されたものである場合や、デジタルカメラ等から出力されたシームレスに記録された画像データである場合には、前述の処理部66（62）における画像処理条件は、シーム情報に応じて、そのシームの画像が適正に仕上がるように定められた条件となるように設定される。すなわち、シーム情報に基づいて画像処理アルゴリズムを切り替える。図示例に於いて、セットアップ部72には、シーム情報に於いた画像処理条件の情報を記憶している処理情報記憶部70が備

わされている。また、スキャナ12のキャリア30（磁気ヘッド42）で読み取られた情報は、セットアップ部72にも供給される。セットアップ部72は、供給された画像情報から、そのコマがシーム情報を含む（フィルムに記録）されたものであることを検出すると、そのシーム情報に於いた画像処理条件の情報を処理情報記憶部70から読み出し、それに応じて画像処理条件を設定する。

【0037】シーム情報に於いた画像処理条件には特に限定はなく、各コマのシーム情報に応じて、出力されたプリンタに再生された画像が好適に仕上がるように、適宜設定される。例えば、シーム情報として「人物」が付与された場合には、セットアップ部72は顔検出を行って、人物の顔を抽出し、特に、この顔領域の明度が抽出されたものとして、各コマの画像処理条件、例えば、顔領域の濃度が適正となるように画像全体の濃度を制御し、また、第2処理ブロック66Bにおける適度補正のMTX演算式を設定し、さらに、顔領域の輝度焼きを行うように、第3処理ブロック66CのLUT等を制御する。なお、顔検出方法には特に限定はなく、公知の顔検出アルゴリズムを用い、具体的には、特開平9-138470号公報に開示される、特定色（肌色）を抽出する方法、特定形状パターンを抽出する方法、背景に相当すると推定される領域を除去する方法等、複数の異なる主要部抽出方法を組み合わせて、抽出された主要部を定めた面積で面積付けし、その結果に応じて主要部を判定して抽出する方法が例示される。また、これ以外にも、特開平4-346333号、同5-158164号、同5-165120号、同6-160993号、同8-184925号、同9-101579号、同9-138471号等の各公報に開示される方法も、好適に利用可能である。

【0038】また、シーム情報として「花」が付与された場合には、セットアップ部72は、花の顔領域を抽出し、この領域の濃度を抽出して鮮やかな絵柄となるように、適度補正のMTX演算式を設定する。シーム情報として「風景」が付与された場合には、光沢補正を行わず、かつ線や空が美しく仕上がるように、グレイバランス補正テーブルや適度補正のMTX演算式等を設定する。シーム情報として「建物」が付与された場合には、コンラストの低い明暗を強調した画像となるように、階調補正テーブル等を設定する。さらに、シーム情報として「室内」が付与された場合には、光源補正を強めに掛けるように適度補正のMTX演算式等を設定する。

【0039】本発明の画像処理方法においては、このようにシーム情報に於いた画像処理アルゴリズムをユニットとして複数用意しておき、画像に付与されたシーム情報に応じて処理を実行する。また、シーム情報に於いた、描画の画像処理アルゴリズムの組み合わせ（あるいは

【0029】前述のように、スキャナ12から出力されたデジタル信号（画像データ供給源から供給された画像データ）は、画像処理部14（以下、処理部14と称する）に出力される。図4に処理部14のブロック図を示す。処理部14は、データ処理部48、Log変換部50、プレスキャン（フレーム）メモリ52、本スキャン（フレーム）メモリ54、プレスキャン処理部56、本スキャン処理部58、および条件設定部60を有して構成される。なお、図4は、主に画像処理関連の部位を示すものであり、処理部14には、これ以外に、必要装置14を含むフォトプリンタ10全体の制御や管理を行うCPU、フォトプリンタ10の動作等に必要な情報を記憶するメモリ等が配置され、また、操作系18やディスプレイ20は、このCPU等（CPUバス）を介して各部位に接続される。

【0030】スキャナ12から出力されたR、GおよびBの各デジタル信号は、データ処理部48において、暗時補正、欠陥画素補正、シェーディング補正等の所定のデータ処理を施された後、Log変換部50によって変換されてデジタルの画像データ（補正データ）とされ、プレスキャンデータはプレスキャンメモリ52に、本スキャンデータは本スキャンメモリ54に、それぞれ記憶（格納）される。プレスキャンメモリ52に記憶されたプレスキャンデータは、画像データ処理部62（以下、処理部62と称する）と画像データ変換部64とを有するプレスキャン処理部56に、他方、本スキャンメモリ54に記憶された本スキャンデータは、画像データ処理部66（以下、処理部66と称する）と画像データ変換部68とを有する本スキャン処理部58に読み出される。

【0031】プレスキャン処理部56の処理部62は、本スキャン処理部58の処理部66は、後述する条件設定部60が設定した処理条件に応じて、スキャナ12によって読み取られた画像（画像データ）に、所定の画像処理を施す部位である。この処理部62および処理部66は、解像度が異なる以外、基本的に同じ処理を行うものである。以下の説明は、処理部66を代表例として行う。

【0032】処理部66（62）は、基本的に、第1処理ブロック66A（62A）、第2処理ブロック66B（62B）、および第3処理ブロック66C（62C）を有して構成される。第1処理ブロック66Aは、グレイバランス調整、階調補正、および適度（明るさ）調整等を行う部位である。これらの各処理は、それぞれの調整や補正を行うLUT（ルックアップテーブル）を用いて、好ましくは、これらのLUTをカスケードして、画像データをLUTで順次処理することによって行われる。第2処理ブロック66Bは、ストロボ撮影や蛍光灯下での撮影等の撮影光源補正を含めた、画像の色度調整（色調整）を、マトリクス（MTX）演算によって行う部位である。第3処理ブロック66Cは、それ以外

は処理のon/off）や、その重み付けを決定しておき、付与されたシーム情報に応じて処理を実行してよい。

【0040】キー補正部74は、キーボード18aに設定された適度（明るさ）、色、コントラスト、シャープネス、解像度等を調整するキーやマウス18bで入力された各コマの指示等に応じて、画像処理条件の調整（例えば、LUTの補正等）を算出し、パラメータ設定部76に供給するものである。パラメータ設定部76は、セットアップ部72が設定したLUTやMTX演算式等の画像処理条件を受け取り、これらをプレスキャン処理部56および本スキャン処理部58に設定し、さらに、キー補正部74で算出された調整量に応じて、各部位に設定した画像処理条件を補正（調整）し、あるいは画像処理条件を再設定する。

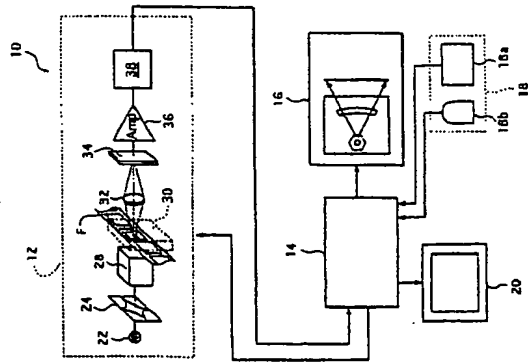
【0041】ところで、新写真システムで同時プリントを依頼すると、フィルムFに撮影された全コマの画像を1枚のプリントに再生したインデックスプリントが提供される。また、通常の135フィルムでも、サービスとして同様のインデックスプリントを添付するラボ店も増えている。本発明の画像処理方法においては、各コマに付与されたシーム情報を用いて、インデックスプリントを編集してもよい。このような処理を行うことにより、撮影画像を撮影者の任意に分類することができ、プリント（画像ファイル）整理の便を向上できる。

【0042】例えば、図5（a）に示されるように、シーム情報を付与された1本あるいは複数（N）本のフィルムのプリント作成を依頼された際に、各コマ、②がシーム情報に応じて分類（図示例では、①が花、②が風景……と分類）してグループ化し、図5（b）に示されるように、グループ毎に異なるインデックスプリントを出力してもよい。なお、インデックスプリントへの分類およびカートリッジ1Dの表示は、バックプリントでもよい。また、同じグループの画像が1つの集合あるいは連続的に配列されるように編集をして、1枚あるいは複数枚のインデックスプリントを出力してもよい。

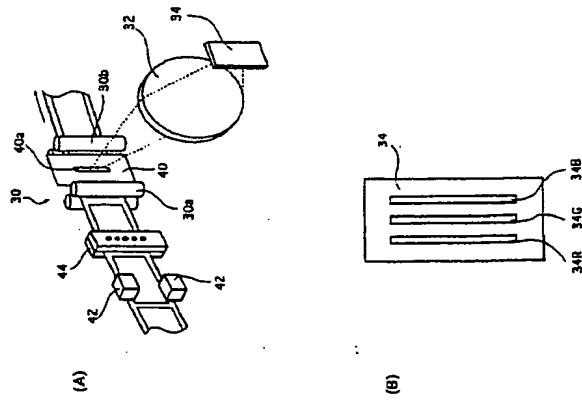
【0043】あるいは、シーム情報の代わりに、撮影日時や撮影時間（午前と午後等）を用いて各コマを分類してグループ化してもよく、撮影者のデータを用いて各コマを分類してグループ化してもよい。撮影者のデータのカメラへのセットを用いて、フィルム毎あるいはコマ毎に、フィルムに撮影者のID情報を、新写真システムにフィルムに磁気情報したり、フィルムに光学的に焼き付けられる。また、撮影日時、ストロボ発光の有無等の撮影（カメラ）情報や、画像特徴量等を用いて分類を行ってもよい。例えば、撮影日時やシームの明るさ（平均濃度など）等の画像を段階的に設定して、それに応じて各コマを分類してグループ化してもよい。さらに、撮影日時や時間、撮影日時等に応じて、グループ内の配列順序



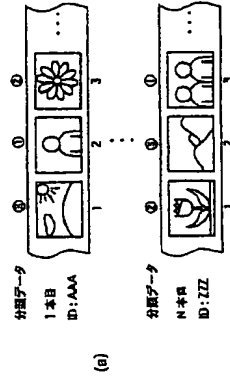
【図 1】



【図 2】



【図 5】



【図 3】

